

活動報告書

令和4年度地域おこし協力隊(農作業支援)



池田 愛莉

令和4年4月1日～令和5年3月31日

地域おこし協力隊(1年目)

私について

令和4年度より農作業支援地域おこし協力隊として着任いたしました。池田愛莉と申します。

出身は鹿児島県ですが、進学で道北の名寄市に移住しそのまま13年、その後恵庭市に移住し4年、今回砂川へ移住しまして、すでに人生の半分を北海道で過ごしております。(自称道民。)

二人の小学生の子どもがおり、子育て中のお母さんでもあります。

親・親戚・友人と仲間を増やしながら、令和6年4月就農を目標に活動を進めています。

今年度の目標

初年度ということで、まずは砂川市における農業について知ること。また就農についてのビジョンを明確にすることが今年度の目標です。

活動内容の報告

1. 研修先①中道ファーム
2. 研修先②関尾農園
3. 冬期間の活動について

中道ファーム(4月～6月)

中道ファームの代表取締役社長中道盛之さんとは数年前から農業を通じてアドバイスなどをいただいております。今回の地域おこし協力隊についてもご紹介いただいた先輩農家さんでもあります。

私も当初は中道さんと同じく、西豊沼でのきゅうりの施設栽培での就農を目標に掲げ、きゅうり20棟の栽培に関わらせていただきました。

春先のハウス張りから育苗、定植管理、灌水パイプの設置などの圃場の管理作業について、幅広く勉強をさせていただきました。このことは実際に自身で圃場準備をする際のシミュレーションができたため、大変有意義な研修となりました。抱えるパートさんも多く、事業展開も多いため、朝礼やパートさんへの声掛けの仕方など、大変勉強になりました。(本当にありがとうございました。)



関尾農園(7月～11月)

私は施設栽培での新規就農を目指しているため、砂川市で多く栽培されている他の園芸作物についても学ぶことになり、7月からは北吉野の関尾農園さんにて26棟のミニトマト栽培に関わらせていただきました。

関尾さんは自身が一から施設園芸をはじめてきた経験をお持ちで、一番多いときは60棟にも上るトマト栽培をされていたことから、パートさんとの関わりや、仕事の段取りの仕方などを多く教わることができ、今後の目標についてもミニトマト栽培をしたいと思えたきっかけになりました。

ため池を利用した圃場の作り方は、地下水や用水に頼ることなく就農できることから、とても参考になりました。暗渠も入っており、ハウス建て方も2つの通路から両方向に見渡すことができ、冬期間の雪の管理にも大変便利だと感じました。(中道さんも同じ)

ミニトマトの栽培方法は、定植時期に合わせていくつかに分かれており、主枝切り替えや2本立てなど様々な方法を実際に見て勉強することができました。一番驚いたのは、パートさん含め皆さんの作業がとてもスピーディで、10名ほどがフレックスに近い勤務体制にも関わらず管理が完全に行き届いていたことです。作業の内容も的確かつシンプルで、作業中はいつでも聞きやすいスタイルであったことから、とても効率よく仕事が行われていました。(次年度からもお世話になる予定です。ありがとうございました！)



冬期間の活動について

| 内容 | 必要期間 | 実施日・場所等 |
|--|-----------|---|
| スマート農業 ・施設設備の情報収集 ・ラズベリーパイを用いた 独自システムの研究 | 12月～3月 | きっかけは花・野菜技術センター、仲間を集いLABOにして一定程度の結果が出ました。 |
| 土壌医検定3級 | 12月～2月中旬 | 2023年2月12日(日)受験 3月23日(木)合格 |
| 花・野菜ベーシックセミナー | 1月23日～27日 | 花・野菜技術センター |
| 播種・育苗作業 | 2月下旬頃より | 関尾農園にて |

今年度の反省、今後のビジョン

砂川に来たばかりのころは、右も左も分からず、農作業に追われる日々でしたが、いろんな方にお世話になりながら、ようやく1年たって家族全員落ち着いて過ごすことができるようになりました。

次年度は、農地の確保、家探し、事業計画書の精査、就農に向けた圃場の準備作業、ミニトマトの栽培、その他セミナー等の参加、勉強…研修生としてのラストイヤーをいかに充実したものにできるかが、重要だと考えます。次年度からは、実際に自分のハウスを1棟持たせていただくことになり、はじめての経験に責任を感じますが、目標の新規就農に向け、しっかりと前進し、農業者になるための心構えもしっかりと持ちたいと思います。

1. ミニトマトの栽培管理
2. 事業計画の策定
3. 土地の確保、圃場準備(暗きょ整備、土づくり、ハウス建設など)
4. 資格取得
5. 認められる範囲での副業

次年度へ向けて(その他)

令和6年3月開催予定の新規就農フェアに向け「おためし地域おこし協力隊」を提案してみたいです。地域おこし協力隊として募集をする前に、まず一度砂川市に来て、気軽に地域交流や仕事内容を体験することや話を聞くことで、その後のミスマッチを解消できるとともに、実際に関係者との出会いを提供できる良い機会になると考えております。

1. 総務省「おためし地域おこし協力隊」
2. 参照 [7fa01bd26bcd33fed9f261b5cd01a5b6.pdf \(sagajikan.com\)](https://www.sagajikan.com/7fa01bd26bcd33fed9f261b5cd01a5b6.pdf)